

輸送動向について（1月分）

平成29年2月15日

1. 輸送概況

今月は、新潟地区をはじめ各地での風雪害や東海道線線路支障などの影響により、月全体で高速貨 207 本、専貨 12 本が運休となった（前年は高速貨 216 本、専貨 4 本が運休）。

コンテナについては、新車販売の好調に伴い、大手自動車メーカーの自動車部品が、東海地区発東北地区向けで荷量が倍増したことなどから前年を大きく上回った。また、エコ関連物資については、北海道内での建設発生土輸送が好調に推移し前年を上回ったほか、化学工業品・化学薬品が堅調に推移した。

一方、農産品・青果物が東北・新潟地区からの民間流通米輸送が低調に推移したため、前年を下回った。また、紙・パルプが印刷紙・コート紙の需要の落ち込みにより減送となったほか、輸送障害の影響を受け、積合せ貨物が前年を下回った。その結果、コンテナ全体で、前年比 101.6%となった。

車扱については、石油が気温低下に伴い好調な荷動きとなったことに加えて、セメント・石灰石が需要好調に伴い前年を上回り、車扱全体で前年比 107.3%となった。

コンテナ・車扱合計は、前年比 103.5%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,651	1,625	101.6%	18,081	18,250	99.1%
車 扱	896	836	107.3%	7,264	7,002	103.7%
合 計	2,547	2,461	103.5%	25,345	25,251	100.4%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	154	164	-10	94.1%
	化学工業品	161	156	5	102.8%
	化学薬品	125	123	2	101.6%
	食料工業品	227	227	0	100.2%
	紙・パルプ	256	262	-6	97.7%
	他工業品	126	115	11	109.4%
	積合せ貨物	187	191	-4	98.3%
	自動車部品	69	53	16	131.1%
	家電・情報機器	31	31	0	101.1%
	エコ関連物資	40	37	3	107.5%
	その他	274	266	8	102.9%
	コンテナ計	1,651	1,625	26	101.6%
車 扱	石油	603	581	22	103.7%
	セメント・石灰石	143	122	21	117.5%
	車 両	86	79	7	107.9%
	そ の 他	65	53	12	121.9%
	車 扱 計	896	836	60	107.3%
合 計		2,547	2,461	86	103.5%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）